

## <2月第1例会報告>

### ワインのお話

会長 田辺征一



ワイズメンズクラブの暦では、2月はTOF（断食のとき）例会ですが、不謹慎？にも我がクラブは「ワインの話」でテイスティングと軽食で楽しいひと時となりました。

（財）神戸みよりの公社の末松勢二さんからお話をうかがう。5種類ほどのワインをご用意いただき、それぞれの特徴を説明していただく。ほとんどのワインは神戸近郊で栽培されたブドウを使っているということであったが、中には輸入ブドウを使っているものもあるとのこと。ワインは主として夏の気候によりその出来栄から熟成過程までが左右される等、ワインの繊細さを改めて再認識させられた。



例会には、6月の西日本区大会でDBC締結調印を迎える岡山クラブから長寿和子会長他3人のワイズメンにお越しいただいた。後日、三浦克文ワイズからは「楽しい例会でした。多岐にわたるワイン作りについて興味深く拝聴できました。」とのメールをいただいた。

合田ワイズは、以前、同公社のサポート会員であったとのこと、当日は、希少価値の高い2005年産の赤ワインを提供していただき、一味違う年代物を味わうことができました。感謝！

いつも食品の買い出しに行ってくださいメネットの皆様、ありがとうございました。



長寿和子会長



三浦克文ワイズ



武内芳江ワイズ



高原良子ワイズ



## < 3月第二(事務)例会報告 >

書記 野呂隆



- ・日時：2018年3月1日(木)  
19:00~21:00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：佐伯、杉本、館、達、  
田辺、長坂、中村、野呂、藤井(信)、藤井(久)

### 1. 報告事項

- (1) YYフォーラム 2月10日(土) 13:00~17:00  
神戸YMCA三宮会館  
参加者：杉本、館、田辺、長坂、中村、野呂、藤井(信)  
神戸YMCA新会館で実施され、新しく制定された新ブランドとロゴのもと、Y3が未来に向かって力強く前進しようという意欲が伝わるフォーラムになった。
- (2) 第21回西日本区大会「登録のしおり」  
参加者は各自が登録用紙に参加費を添えて、次回の例会で提出する。
- (3) <西日本区新事務所の住所>  
新住所：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目7-30-4F(「アネックス新大阪」ビル)  
地下鉄「西中島南方」駅、阪急「南方」駅から徒歩2分
- (4) '18/2月発行西日本区報&メネット報の配布

### 2. 協議事項

- (1) 3月例会 フルート演奏会  
3/15(木)に学園都市会館の3階多目的ホールで実施する。  
☆3/15にイスの搬出作業を13:00と18:30とに分けて行う。3/16のこども園卒園式終了後の13:00以降にイスを返却する。
- (2) DBC締結報告書・締結証  
指定の書式に署名等を行い、6月の西日本区大会での締結式に間に合わせる。
- (3) 西日本区事業目標(献金)  
基本的には前年度の方針を踏襲し、一部金額を修正して納付することとした。
- (4) 広義会員の件  
会員で体を壊して昨秋から例会を休んでいる方がおられ、早期回復が懸念されるので一時的に広義会員になっていただき、回復後に復帰していただくこととした。
- (5) 今後の例会：フルート演奏3月15日(木)

生け花4月19日(木)鯖尻佳子様(宝塚クラブ)

### 3. その他報告・協議事項

- (1) ベルマーク、インクカートリッジ回収箱設置について、学園都市YMCA便りに掲載依頼した。
- (2) 「神戸YMCA新会館建築募金 感謝」の礼状について、神戸YMCA新会館とファミリーウエルネスセンターの2館が完成し、建築募金活動などの協力に感謝する礼状が全員に渡された。

### 4. 今後の西日本区・六甲部行事予定

- ◎ 京都グローバル25周年記念例会 3月3日(土)  
参加：杉本、田辺、野呂、藤井(久)
- ◎ 名古屋クラブ70周年記念例会 3月4日(日)  
参加：杉本、藤井(ひ)
- ◎ 神戸・神戸ポート合同例会 3月8日(木)18:30  
NPO法人ワット(細見ワイズ) 神戸YMCA  
参加：杉本、館、田辺、長坂
- ◎ 次期主査・会長研修会 3月10、11日(土、日)  
大阪コロナH ¥17,000  
参加：田辺、藤井(久)
- ◎ 宝塚クラブ30周年記念例会 3月21日(水・祝)12:00~ 宝塚H ¥7,000 3月10日メ切  
参加：杉本、田辺、藤井(久)
- ◎ 六甲部評議会、3月24日(土) 神戸YMCA、  
グリーンヒルH ¥4,000  
全員参加を目指し、当クラブは12時集合とする。
- ◎ 神戸ポートクラブ創立30周年被災地復興支援チャリティーコンサート、4月28日(土) 13:30~  
第1部：神戸YMCA三宮会館チャペル、  
第2部：グリーンヒルホテル神戸  
参加予定：佐伯、杉本、館、田辺、長坂、野呂、藤井久子
- ◎ 「きらりと輝くアート展」4月28日(土) 10:00~、神戸YMCA、ゆとり作業所参加、参加者募集
- ◎ 第21回西日本区大会 6月9、10日(土、日)  
ANAクラウンプラザホテル神戸  
早期申込み( ~ 3月31日 ) ¥20,000

＜ANA チャーター便で行くスイス  
ゆったりアルプス3大名峰と  
氷河特急デラックスシート9＞  
(最終回)

丹家元陽 ワイズ

7月17日(日)

気が付けば日本海に入っていた。オレンジジュース、スープ、ツナサンドの朝食?で関空着。PM3:10。



夏本番の日本は暑い。そして蝉の音がやかましい。家に着いたらいつものようにソーメンを食べよう。

今回は三大名峰を目の前にし、素晴らしい景色とおいしい料理、ワインを楽しみ、大人の国を垣間見た思い出に残る旅となりました。

皆さん、ヨーロッパは本当にいいですよ!



＜ 今月の聖句 ＞

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。

イエスはこうお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。はっきり言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る。」

(ヨハネによる福音書12章23～25)

「一粒の麦」として知られる上の言葉は、塩狩峠で発生した鉄道事故の実話をもとにした三浦綾子さんの小説『塩狩峠』のモチーフにもなっている。名寄駅から鉄道で札幌へ向かう途中、塩狩峠の頂上にさしかかろうというとき、鉄道会社員の主人公が乗る最後尾の車両の連結部が外れて暴走する。主人公は乗客を守るため、レールへ飛び降りて汽車の下敷きとなって食い止め、多くの乗客を救った。

イエスは大勢の人の熱狂的な歓迎を受けて、子ロバに乗ってエルサレムに入場した。パリサイ派の人たちは「見よ、何をしても無駄だ。世を上げてあの男について行ったではないか」と嘆いたように、人びとは万軍の主がローマの支配から解放してイスラエルを回復する時が近づいたと思い、弟子たちもメシア(救い主)の王国が成れば自分たちが大臣になることを夢見していた。しかし、イエスは「栄光を受けるとき」(十字架の死のとき)が近づいているのを予期していた。そして、人びとや弟子たちに、「『死なないならば』——自分の思いにとどまって生きる(自分の命を愛する)者——はまことの命を得ることができない。『死ねば』——自分中心の生き方を捨てて(自分の命を憎んで)イエスの教えに生きる者——は永遠の命を得る。」と説いた。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～